

■第1回越後石山駅前地域交流拠点整備事業 基本構想策定委員会

日 時：令和7年9月24日（水）

18：28～20：35

会 場：東区役所 会議室A

参加者：委員長、委員9名

事務局：（東区地域課）3名

（財産活用課）3名

（東区建設課）1名

（石山出張所）1名

（石山地区公民館）1名

【（1）開会】

○事務局

皆様お疲れ様でございます。本来、6時半からスタートではございますが、本日まで出席いただける皆様出席になりましたので、時間前ではございますけども、これから始めさせていただきますと思います、改めまして、皆様本日はお忙しい中、第1回越後石山駅前地域交流拠点施設整備事業基本構想策定委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

ただ今より第1回策定委員会を開催いたします、本日の司会進行を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。ここからは着座にて、司会進行を進めさせていただきます。

まず開会に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

本日の資料は改めまして、一式を皆様の非常に配布させていただいております。

資料は次第。そして、資料ナンバー1と2、資料ナンバー3-1から3-7。そして資料ナンバー4から6。そして6の次に資料ナンバーがついておりませんが、地域の皆様に先般発行いたしましたニューズレター第6号を資料7としてつけておりまして、最後に参考資料と右上に枠がついているものが1つと、皆様からご連絡をいただきました、ヒアリングシートのまとめをお配りしております。事前に皆様には送った資料からですと、資料2と資料3の7、資料7及び参考資料とヒアリングシートが、本日追加になっているということになりますが、資料に不足等ございましたら、お声をいただければ対応いたします。

策定委員会の内容につきましては、地域の皆様へお伝えをしたいという風に考えておりますので、会議内容については録音させていただきますことをご了承願いたいと思います。また、本日はマイクを4本ご用意しているのですが、異なる所属のものをかき集めて用意したので、電源が一斉に入りますとハウリングする可能性がございます。

ご発言をいただける時には申し訳ございませんが、スイッチを入れてお話が終わりまし

たら、スイッチを切っていただきますようお願いしたいと思います。

それでは、地域課長より開会のご挨拶をさせていただきます。

○地域課長挨拶

皆様こんばんは。

朝夕だいぶ涼しくなってきた、私の方も風邪気味で、今日はマスクをさせていただきますながら参加させていただきたいと思います。

第1回策定委員会の前には2ページにわたるアンケートを、お忙しい中答えていただきまして、大変ありがとうございました。

本市では中学校を単位として公共施設の再編を務めております。

石山、東石山地区におきましては、昨年度からワークショップを開催いたしまして、5回開催して地域の皆様と検討を進め、越後石山駅前の園芸センター記念公園敷地の一部を活用して石山出張所や公民館、まちづくりセンターなどを集約とした複合施設を新設するという計画が策定されました。

これまでもワークショップの内容については、地域の全世帯へニューズレターという形でワークショップの都度ご案内させていただきましたが、10月1日に第7号で計画の策定が完了した旨、皆様にご案内する予定となっております。

実行計画は、あくまでも新施設を越後石山駅前に建設するという計画になっておりまして、後ほど詳しい説明をさせていただきます。

施設が1階なのか、2階なのか、3階なのか、敷地内の建設位置をどうするのか。駐車場はどうするのか。諸室の割付けなど、民間事業者より提案を受け、建設される予定です。提案してもらうために、色々な諸条件をこの策定委員会で、ご検討いただきたいと思います。

この度はあらゆる年齢層の方々を委員にして、策定委員会にご参加いただくために、夜の会議になってしまったことをご理解いただきたいと思います。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

○事務局

続きまして、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思っておりますが、本日、中野山小学校区コミュニティ協議会から選出されている委員が欠席となっております。

また、東中野山小学校区コミュニティ協議会から選出いただいている委員もご欠席となっております。

なお、南中野山小学校区コミュニティ協議会からおいでいただいている委員については7時半ぐらいに退出されると伺っております。

座席表を皆様の方にもお渡ししています。江南小学校区コミュニティ協議会選出の委員から反時計回りで、一言ずつご紹介をお願いしてもよろしいでしょうか。

では、お願いいたします。

○委員自己紹介（略）

○事務局

皆様ありがとうございました。

続きまして、この策定委員会は、委員長を選出させていただいて、委員長の下で議題を進行していきたいという風に考えております。

皆様にお配りしております、資料ナンバー2は、策定委員会の設置要綱になっております。今回はこの要綱に基づいて、地域の皆様にもお声替えさせていただいています。

その資料2の、1番下第5条・委員長という欄がございます。

第5条の第2項に基づきまして、構成委員の互選より委員長を1名選出させていただいて、その上で、これから進行をお願いしたいと考えてありますが、初めて今回顔を合わせる方々も多いと思います。

そこで、1つ提案ではございますが、事務局の方から推薦という形で、推薦させていただいて、皆様からご賛同いただければ、その方から委員長になっていただければと思っております。

事務局の方では、地域の代表として月1回自治協議会という、まちづくりの議論をしている会、自治協議会の会長しております、委員が適任かと考えて、推薦をさせていただきたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

ご賛同いただける方は拍手をお願いできればと思います。

〈拍手〉

それでは本委員会の委員長をお願いしたいと思います、よろしかったでしょうか。

はい、ありがとうございます。

それではここからの進行につきましては、委員長からお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長

ありがとうございました。

不慣れな点、多々あるかと思いますが、委員の皆様、どうぞよろしく、ご助言をいただければなと思っております。

それでは、本委員会の議事の進め方と本日のゴールについてご説明いたします。

本委員会は、全3回の開催を予定しており、本日の第1回は、新施設の『骨格』となる理念・コンセプト、そして施設の総量削減を踏まえた上で、重要で不可欠な諸室の機能の大枠について合意形成を図ることが目標となります。

詳細な開催要領や本日の流れは、お手元の資料をご確認ください。

また、委員の皆様には事前にヒアリングシートにご回答いただいております。議論をより深めるため、事前にいただいたご意見の概要をまとめており、この後の討議の中で活用していきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の「2 前提条件の共有」について、事務局よりお願いします。

○資料説明1（事務局）

私の方からは、本日の議論の前提となる情報として、これまでの「ワークショップの振り返り」と「実行計画の内容」、および、本委員会の「最終ゴールの確認」について、時間の都合もありますため、簡単ではありますが、お手元の資料にてご説明させていただきます。

まずは、資料番号を記載しておらず申し訳ございませんが、資料7として、左上に「新潟市財産経営ニュース広報紙 第6号」とあります資料をご覧ください。

ニューズレターは、これまで5回に渡り実施しました地域の皆様とのワークショップの成果を都度取りまとめ、地域にお配りしていたもので、直近のニューズレターになります。

1ページ目中ほどの、「石山・東石山地域実行計画策定までの流れ」について、記載事項に補足して説明いたします。

昨年3月から今年の3月まで、全5回に渡るワークショップの開催により、地域の皆さまから、計画に関する様々なご意見を伺ってまいりました。

ワークショップでは最初に、市内公共施設の老朽化に伴う一斉更新時期の到来による費用の大幅な増加や、さらなる人口減少等を見据えた、公共施設の総量削減の必要性を最初に確認しました。

その上で、石山・東石山地域にある公共施設を中心とした地域課題についてご議論いただき、その課題を解決し得る、公共施設の再配置案、全部で5つの案を、第3回のワークショップにて事務局より提示をさせていただきました。

ニューズレターの資料おめくりいただきまして2ページ目に、その5案をお示ししております。大変恐縮ですが、本日詳しいご説明は割愛させていただきます。

この5つの再配置案を評価するにあたっての評価項目も、地域の皆さんからご議論頂いたうえ、評価項目を定め、各案を評価してもらい、最終的に絞り込まれましたのが、資料6の「石山・東石山地域実行計画」となります。

本計画が、地域住民の皆様の声を基に進められてきましたことを、ご理解いただけたらと思います。

それでは資料6の表面の左下にございます、「公共施設の配置図と再編」をご覧ください。

実行計画では、石山地区センターや石山南まちづくりセンター等の複数の公共施設を集約することとし、越後石山駅前であります、園芸センター記念公園敷地内に、新たな地域交流拠点施設を整備する計画内容となっています。

それから、本委員会の最終ゴールについてです。

恐れ入りますが、資料1にお戻りいただき、「1.委員会の目的」をご覧ください。

先ほどご説明した実行計画の内容を踏まえ、越後石山駅前地域交流拠点施設の『基本構想』の成案の策定が、本委員会で目指す最終ゴールとなります。

基本構想では、「2.開催時期・回数」に記載の「主なテーマ」のとおり、新施設建設にあたっての、理念・コンセプト、導入する基本機能、配置計画・機能配置、公園や駐車場等の周辺空間との連携などを整理し、施設の骨格となるものです。成案の策定に向け、忌憚のないご意見を賜ればと考えております。

私の方からの説明は以上になります。

○資料説明2（事務局）

引き続き、私の方からは資料の3の1以降をご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

まず、前提としてですが、この地域交流拠点施設整備事業については、今までのように新施設の設計・工事・解体工事を個々に分離して発注するのではなく、みなさんと策定する『基本構想』に基づき、民間からの提案を公募し、一括して発注していく予定です。

それでは資料3の1から3の3についてです。こちらにつきましては、新施設の配置検討案として6案。1枚につき2案ずつ、6案、議論のたたき台として提示させていただきました。

続きまして資料3の4から3の6。こちらにつきましては、新施設の機能配置案として、3階建て、平屋建て、2階建ての場合のイメージを提示させていただきました。

次に資料3の7です。こちらにつきましては、各案のメリットデメリットを一覧表にまとめてあります。主に民間活用の部分や公園面積について言及していますので、それぞれご確認いただければと存じます。それでは資料3の1にお戻りください。

こちら資料3の1でございますが、パターン①と②でございます。

こちらにおいては、石山南まちづくりセンターの跡地を民間活用敷地と設定しています。これは石山・東石山地域実行計画の付帯事項の1つとして、民間活力の導入の検討についてというものが挙げられており、具体的な意見としてはコンビニや飲食店と一緒に整備されると良いといったご意見がありました。

このことから石山南まちづくりセンターの跡地を民間活用敷地と設定しています。また、今回の発注方式について、民間事業者から敷地の民間活用も含め、広く提案を公募し、一括して発注する方式としております。

続きまして、資料3の2、そして3の3。こちらがパターン③から⑥についてが掲載されています。こちらについては、公園面積を広く確保する案となっております。民間活用する面積が少なく、民間開発では、1,000平米以上は必要となることから民間からの提案による活用は難しいと考えます。

民間開発になることから最低でも、1,000平米は必要と考えています。また、資料3の3のパターン⑤⑥につきましては、平屋建て、2階建ての場合となっております。こちらについ

ては、施設の建築面積が3階建てより大きくなるため、その分公園面積が少なくなる案となっています。

駐車場については、駐車場の利用状況、石山地区センターと石山南まちづくりセンター2つの施設を、今年の7月から8月にかけて調査を実施し、参議院選挙などの特異日を除いた、利用者台数の最大値、こちら2施設合わせて80台ということが分かっております。

この調査に基づき、いずれの案も約80台の駐車場スペースを計画していますが、仮に駐車場よりも公園面積を確保したいということであれば、駐車場台数を減らして確保することになります。

敷地全体をどう計画していくかについて、民間事業者から提案をいただくこととなりますが、その前提条件として皆様からは駐車機能、公園機能、施設との交流・連携機能など、どの機能を優先とするかについても、後ほどご意見を聞かせていただければ幸いです。

続きまして、資料5をご覧ください。

資料5、こちらについては、既存施設の諸室面積、その使い方や利用率といった利用データを示しています。施設の総量削減を踏まえた上で、全体の延べ面積で約2,700平米となっています。

この延べ面積は最大値であり、これから利用状況などにより本当に必要な機能と諸室面積等を皆さんと整理していくことになります。

既存施設の質の利用データに基づいて、利用率の低い部屋・機能については、他の部屋・機能との集約複合化していくこととしています。

私の説明は以上となります。

○委員長

ありがとうございました。

資料の説明、大変本当にご苦労様でございました。それではこれより議題に入ります。

最初の議題は新施設の理念コンセプトについてです。事前に皆様から提出をいただきましたヒアリングシート議題の内容に基づき、新施設のあるべき姿や、提供すべき価値について、皆様で意見交換を行うと行いたいと存じます。

例えば、多世代交流拠点、地域の活動発信拠点、学びと創造の拠点といったあるべき姿や、賑わい、健康増進、防災安心安全といったような提供価値、またどのようなターゲット層に利用してほしいか等、また施設の内部での交流だけでなく、公園等の外部空間との連携した使い方を重視する等、多角的な視点からご意見を聞かせていただきたいと思っております。

委員の皆様から頂いた主な意見をいくつかご紹介をしたいと思います。

あるべき姿につきまして、「緑溢れる憩いと地域の活動の発信拠点」、2つ目として、「多世代交流があり、地域での学びや活動など複合的にできる拠点」、価値には様々な感じ方があると思いますが、全体的に「賑わい」が多い感じます。

ターゲットとしましては、全体的に全ての世代が多い感じます。

また、これらの議論を踏まえ、施設のコンセプトとなるキャッチフレーズについてもご自由に発言をいただければ幸いです。

それでは、どなたからでも結構ですので、ご意見をお願いしたいと思います。

遠慮なく挙手をしていただいて、ご自由に発言をお願いしたいと思います。

未来の石山を作り上げる大事なコンセプトでございますので、皆さんから自由な発言をよろしく願いをいたします。

いかがでしょうか。特に未来を背負って立つ若い人たち、遠慮なく好きなこと言っていていいですからね。

○委員E

基本となるのは、まず市役所機能がしっかりしているということが、大の大的前提であることが間違いないと思います。賑わいなどの深部なところはプラスアルファとしてはありがたい話なのですが、石山地域がある程度便利だっただけで、住んでいるのですが、出張、私は新潟県全域を見ていまして。あと関東の責任者なのですが、エリア的には1駅で新潟駅に、ドア to ドアで東京まで行ける、すごく便利な所。相乗効果として、石山の出張所が比較的近くに、歩いて行けるところにあって、パスポートは無理だけれど、それ以外は用を足せる。それが利点だと思う。まずはプラスアルファの話の前に、行政機能がどこまでしっかりあるのか。いまは最低限の内容だけど、もしプラスアルファがあれば、よりいいなと思っています。

それに加えて、地域の賑わいとか、催し物ができるなど、石山、大形地域、東新潟地域だけに限らず、山二ツの方とか、遠方の方とか石山駅を最寄りとして使われている方はいらっしゃると思うので、そういったところにも発表できるような、考えを出していけるかなと思っています。まずは、市役所として中心的な機能を皆さんとして作りたいのか、市役所プラス、民間の力を入れて、そういったものを作りたいのか。

例えば長岡の駅前開発でアオーレ作って、そこだけじゃやっぱダメで、第四北越銀行と一緒にやるような形を目指すのか。

新発田駅前など、なにかモデルがあれば、発言をしやすいかなと思っています。

○委員B

市役所の機能がしっかりしていないと。場所を移すので、地域住民だけ行きやすく、遠い住民の方が行きづらくなってなると、利便性は欠けてしまうので、電車やバス、駐車場など検討が必要。

私は新石山で生まれて、今、隣の町内に住んでいますが、比較的アクセスしやすい。ただ緑が少ないので、子どもの頃は公園に行くのも苦労したので、少し、気にかけてもらえる嬉しい。

○委員A

私としては、今の石山駅前の旧園芸センター公園。昔、植物園で温室があって、私も江南に住んでもう50年近くなりますが、子供を連れてその温室に行ってぼさーとして、こどもは遊んで、ベンチに座って、ゆっくりして。昔から馴染んだ地域で、それがだんだん縮小されまして、駅前広場ができて、園芸センターは清五郎の方に行ってしまう、非常に寂しい思いをしております、さらにここがこういう新施設は集約されるっていうのは仕方ない話なのですが、石山の事務所がなくなって、公民館が今の町に住んでいると一緒にするのはしょうがないことなのですが、過去のいいところにだけ固執しているわけじゃないのですが、何か非常に寂しいなという気がいたします。

この公園を維持するためにはやっぱり駐車場なんかもね。これ平面だけど、立体駐車場にできないのか。そうすれば結構台数も増えて、公園ないし、施設全体のスペースもできるのではないかな。

場合によっては建屋を、1階は空間にして、冬でも雨の日でもゲートボールやキャッチボールをするスペースもできるのではないかな。

とにかくやっぱり地域としては、植物園は非常に憩いの場だったんだということを是非とも残していただけるような施設をお願いしたいなと、今後この場で私も色々そんな話をさせていただきます。

是非、今のいいところをどんどん残して、あまり削ることばかり考えないでやっていただきたいなと思っております。

○委員D

私としては、この公園を残すことが期待されていると思います。昔の石山村部分に今、公園がないのですよ。

そのために、園芸センターであった場所に陳情して、公園として残すようお願いしたのです。石山1丁目から7丁目までありますけど、公園ははっきり言ってありませんね。そういう形で公園としては、機能は残してもらいたいのですよ。そのために少なくとも、この今の公園の少なくとも2/3ぐらいまで残して、今もこどもたちが来ますけど、遊具がないので。

木がたくさん生えていて、手入れもうまくいってないから、中の木も枯れたり、歩くところもうまくいってない。整理してもらえば。公園が欲しいとお願いしたので。

公園は2/3ぐらいまで残してもらいたいのですよね。案は4あたりがいいと思う。

外部の施設としてコンビニとか言いますが、やはり人がいないとダメなんですよ。

まちづくりセンターや公民館など、人がいるわけではない。うまくいかないと思うし、業者は来ないと思う。

地域の方が楽しめる。小さいこどもさんが行くところはないんですよ。芝生をとことこ歩いていきますけど、やはり滞在時間が短い。

それと、もう 1 つはお願いしたのは防災っていうことで、トイレやベンチもお願いしたのだけど、全然取り合ってもらえなかった。

それともう 1 つは一時避難場所になっているのです。そのために地域の方が何百人くるか分かりません。

今現在、我々も防災訓練では、一時避難場所利用してやはり何十人かで集まってやっていますので、もし何かあったら、相当数は集まってくると思うのですよ。そのために少なくとも公園は残してもらわないと思われているのですよね。

この地域は緑が多いが、緑は大事に。やはり、緑ばかりじゃなくて、遊べる所ですが、外から見える安心な場所、公園っていう形で提案していきたいと思います。

それともう 1 つ、越後石山駅との兼ね合いで考えてもらいたいのですよ。

駐輪場も真ん中に下の方にある駐輪場は、常時もう満杯で溢れている状態なのですよ。駅の兼ね合いで駐輪場の位置とか、その辺りも検討していただきたいと思います。

○委員 G

私たちがまだ現役の頃のものがかかなり制度疲労を起こしていて、今例えば少子化であったり、いろんなインフラが老朽化しているっていう問題なのですけども、私がずっと関わっている医療の問題もそういう点では制度疲労を起こしているわけですね。

そうするともう 1 つ、やっぱり大きな考え方としてはですね、社会的な共通資本っていう考え方ですね。今回の施設もそういう意味においては、社会的な共通資本として考えていかなきゃダメなのだろうと思っています。

その 1 つがやっぱり、その共通資本の中に自然環境、大気、水、森林、土地、河川など。それから 2 つ目としては社会的なインフラストラクチャ、道路、交通機関、上下水道、電気ガス。それから 3 として制度、医療、教育、地方金融。この制度に関係するようなものとしてですね。今回の施設を考えていただけたらなという風に思っております。以上です。

○委員長

今までの 50 年とこれから新たな 50 年先って言いますか。まさに時間は動くわけであります。

こういう絶好のチャンスの時に、やはり未来の石山をどうするか、何が 1 番大事なのかっていうところが、1 番ポイントかと。どこの地域でもそうですけどね。時間が流れているって事をお互いに心の中に入れながら、もう少し具体的に、もしこういうものがあつたらいいのではないだろうかとか、こういう姿が将来的にはあつた方がいい。それに向かつてこういうものがあつた方がいいのではないかと。これ年齢世代によってかなり違ってくるかと思うのですけれど、また男女によっても違ってくるかと思うのですが、その辺りにはもし具体的なこういう施設とかこういうのがあつたらいいのではないだろうか。これは 20・30 年後では絶対、こういう風にならないと地域が発展しないのではないだろうかとか。現実とし

て5年10年っていうのはあっという間に過ぎてしまいますし、ちょうど今こう改築と言いますか、新築っていうこういう大きい課題でございますので、毎年あるものではございませんので、いいチャンスだと。本当に石山をこれからどうするのか、地域住民のためには何が必要なかという大きい目で少し意見もいただければなと思いますが、いかがでしょうか？

○委員G

先ほど委員もおっしゃいましたが、やっぱり緑ってものはですね。やっぱり人と共生でき1番大切なものではないかと私も思っております。そういう点ではある程度残していただけたらと思います。

○委員A

ある程度で困るんですね。

ある前の地域課長の方が言われていたのですが、例えば池のある周辺で人はほとんどいないので、池を潰してはどうかというような言い方を私にされたのですよ。だから人がたまたまそこにいなくてもそこにあるっていう場所、背景としてですね、それは大切なことなのですよね。

それを単純に人がいないし、たまたま区役所から来られて、人はあんまりいないだって、あんまり使われてないなっていう風なイメージで捉えると非常に困るので、やっぱりそういう緑があって芝生があってですね、散策路があって、地元の人たちが花を埋めてですね、手入れをしている。それがあるということが大切なことなのですよね。

ですから、私としてはできるだけ、ほぼ残してもらって、そのためにどういう施設を作ればいいのか。さっきも私言いましたが、例えば1階部分はね。建物だけでも1階部分は空間にして2階から施設みたいな形にする。1階はあの例えば、グラウンドとは言いませんけども、動けるような場所を作る案もある。

○委員長

その他にせっきく物を建てるって言いますか、作り直すみたいなどころがあるわけですから、それを作ることによっての、その地域でのその施設の価値が、作った方がいいが誰も来ないっていうのでは何にもならない。その点も少し皆さんから新しい施設によって、どのような価値が出てくるのかに賑わい等も含めて、その辺とあと少し若い人たちだけなのか、年寄りも含めて、うまく言えば全ての住民全ただってという形で多く広げるのか、その点も含めてターゲットとしてはどうでしょうか。

皆さんに今の利用状況も踏まえながら、また新しい施設を作る時にどの辺を重点に、重点はなくて、住民全部で何だってことであればそれはそれであれなのですけど、皆さんの考え方としていかがなものでしょうか？

○委員 B

具体的な所ということで、園芸ゾーンだったり、散策ゾーンだったり、あと憩いの広場ゾーンが広がって、そういったところで、お花を植えたり、野菜作ったり、敷地内で販売してみたりとか小・中学生の課題活動を含めて、そこに地域の方々が入ってくるっていうような感じで、連携を取れば意外と見に来る人だったりとか、お客さんがくるっていうところはあ
るのじゃないかなって思います。

プラスアルファで民間活用地が絶対必要だろうなって思っています。行政は人を寄せる力をうまく活用できないっていうところもあると思うので、立ち寄ったついでに見てもらえるっていう風なものを、欲をいうと、スーパーとか、皆さん普段使いするような企業さんが入ってくると私は嬉しいなっていう風に思っています。

地域の人に来ていただくというのもそうですし、1つの観光スポットではないですけど、いろんな人が身に来てくれるような場所。亀田駅、さつきの駅、新潟駅周辺の人とかも来ていただける場所作りができればいいなっていう風に私は考えています。

○委員 D

図書館があまりいいものはないですね。例えば、「ほんぼ一と」がありますけど、あそこもちょっと不便ですしね。そういった考えでは、駅前に図書館があるということは、学生も利用しやすいと思うのですよ。

図書館を目玉にしてやってみたらどうかと私は思っているのです。そこは人の交流の場所であり、緑がありますので、本を読みながらゆったりする場所っていう形で、私は提案したいと思っています。

○委員 A

「ほんぼ一と」が今の場所にできたっていうことに対して、非常にあの批判的っていうか、非常にアクセス悪いじゃないですかと、やっぱり今は公共交通期間を使ってすぐ行けるような、例えば新潟駅の構内の中でとか、投書や意見をしばしば聞いたことがあるんですね。確かにそうだと思うのです。

公共の交通機関はバスしかありません。あと JR ですが、やっぱり今の所は行きづらい。車でないと。という考えです。今回は駅前なので、様々な地域から来やすい。

だから、東区の施設という観点から捉えるのではなくて、全市的な施設と考えて検討してもらった方がいいのかなという気がいたしますが。ちょっと大きすぎますでしょうかね。

○委員 G

東区役所を作る時も、ここに図書館を作るか、作らないのかと問題になりまして、その時に委員の方から提言で図書館を作るってことになったわけなのですが、そういう点では、やっぱり新しくできる施設に図書館っていうのは非常に必要だと思うし、図書館がある

程度、いろんな世代の人たちが来て図書館を利用するっていうのでいいことだと思うし、それに同時に先ほどから言っております公園機能ですね。というのは、本当にどんな世代でも利用できるものだと思っております。今現在あるものが残っているような部分を公園機能として残す。

ブナの木など、大きな木をできるだけ残すっていうようなことを考えた配置を検討してもらいたいと思っています。

○委員長

それぞれに今具体的なところまでも話が出てきますが、差しあたって、価値の部分ですね、みなさんが思っているところは、どうせ施設を作るならば、誰も来ないよりも大勢の方から来ていただいて、地域の賑わいというものは第一に考えるところなのだろうと思いますが、その他に特にせっかく作ったのに利用価値がなければこれはどうにもならない部分でありますので、その時にちょっと難しい話かもしれませんが、この価値提供する施設について、どういう地域に対しての価値を求めたいのか。

やはり先ほどから申し上げましたように、あのターゲットとして住民っていう形だけでいいのか。それとも若者老人のもそうですし、小さい子も含めた親子でもいいんだろうし、その時に皆さん実際そこに住んでらっしゃって、今施設をどのような方がどのような形で利用しているかっていうのはご存知のような気がいたしておりますので、その辺りを含めて今後も含めまして、どういう方にこれから利用していただきたいのか、幅広い方がいいのか、ある程度絞った方がいいのか。っていうことについても少し議論でき、あの本当に主観的結構でございますので、いかがでしょうか。

○委員E

コンセプトってのは、どういった特徴を持たせるかっていうところまでお話しすることなんですけど、なかなか今の時点でそこまでの話、ちょっと難しいのかなって。

今日私、諸先輩方のお話聞いて、私の考えに近いなと思ったのが、委員D・委員Gって思っております。せっかく作るのであれば、いろんなものを入れたい。あーしたい、こーしたい。はあるんですけど、詰め込みすぎて失敗しているのが今日本であって、今行政であって、病院系もそうなんですけど。あ、そういうところになろうかと思うので、ある程度抜き差しがなければいけないと。

新潟県全部の駅に私が行ったことがあるわけではありませんけど、主要なところで駅を降りて、緑が、公園があるっていうのが、大変素晴らしいなと思いますので、やっぱりあの基本的には市役所機能があること、緑、神社この地域の雰囲気を保たれることっていうのが大切にすべきことなのではないのかなと思います。

今後の発展性っていうのは、統計的に人口分布、世代構成、再開発、近隣の人口分布なども考えないと、今の時点では議論がちょっと難しいかなと思います。

一度、市内外、県外含めて、成功例を行政の方からも提示いただいた方が実体になるのではないのかなと思っております。

あと、民間活用は競争を生ませるために人材を含め、利用すべきだと思います。私は公務員ではなくて民間の方の人間なので。競争をして、いろんなコストを下げる持続可能なものを作るのが必要なのだろうと思います。

人口が増えないのであれば、ミニマム的にどういう風にしていくのかっていうのが、やっぱりそういったところを踏まえなきゃいけないのかなと思っておりますので、まず持続可能で、その中でできる限りの要望を上げながらやっていくと。

民間活用地も 1,000 平米以上設けてやるのもこれはこれでいいのかなとは思いますが、アクセス道路の整備がなされていない以上はなかなか難しいのかなと思いますので、例えば先ほど長岡の話をして、また恐縮ですけども、アオーレの中にある市役所機能の中にコンビニが一件入っているんですね。小規模のコンビニだったと認識するんですけども、ある程度が入るだけでもいいと思います。スーパーなどは難しいのではと思う。

モデルケース小規模エリアの再開発など事例を情報収集して、市側から提示してもらいたい。

○委員 J

まず、新しい施設を作る前提条件でワークショップを 5 回行ってきた時にもご説明があったかと思うのですが、新しい施設の中には石山出張所、石山図書館、公民館、まちづくりセンターと一緒に集約されて入った新しい施設っていうのでお話しさせていただいておりますので、出張所は必ず入るし、図書館も入ります。

ただ、中央図書館のようにしてくれということは、規模的には難しいと思っています。市の方針といたしまして、共有部分は多分削減されるのでしょうか。というところもあるので、全体のその 2 つを足して、全体の面積が今よりも大きくなるということの想定はしていないというところは、話を進める中で考えていただきたいと思います。

委員 E から話がありました、建物の中にその例えば小さいコンビニを作るとかかっていうところは、提案の中でそういうことがあるってことであれば、その提案を受けて、受けた業者がそういう提案をしてくるってことなので、皆様でこの面積じゃなくて建物の中という、もしご提案があれば、そういう提案を含めるってような形になろうかなっていう風に思います。

自分のお家を作る時もあれも欲しい。これも欲しい。これも欲しいとなるんですけども、結局お金というと失礼なんですけども、お金は当然必要ですし、駐車場はどれぐらいいるのかな、家族のためなのか、家族の分だけなのか。お客様の分だけでも考えるのか。あと和室のところも日頃使わないけど、年に 3 回来るお客様のためにもところも 10 畳構えるのか。いや、それはちょっともったいないよね。など、そういうお話をされるとと思いますので、そういう視点で、本当にどういう使われ方っていうのをちょっと皆様考えていただきたいと

思います。

もちろん提案は必要だと思いますので、私が言うあまり面白くない提案があるといけないかなと思って言いませんでした。けど、そういうところもあるということをご承知おきいただきたいと思います。

本当は民間活用したいっていうことであれば、この図面の通り、公園はほとんど少なくなってしまうってのは当然であって、じゃあ民間活用しないよ、っていうことであれば、または③、④のように、公園はこれぐらいの広さになります。と、叩き台で分かるように示したものです。

なので、このようになるわけではなく、皆さんもおっしゃったように公園が非常に大事だということであれば、公園は、委員Dのように2/3欲しいというような提案を1つの項目として入れられるわけですね。

そうすると、建物の面積が小さくなるとか、駐車場は小さくなってしまふなど、プラスマイナス出てくるってところを、皆さんも考えていただいて、議論していただけたらなと思います。

プラスの価値の部分としては、私としては園芸センター記念公園っていうのがあって、本当に駅前に緑があっていい雰囲気なので、あの雰囲気を壊さないような施設と一体化したような施設になると非常に癒される場所になるのかなと思っております。

あと、ターゲット層も地域の人々というよりは、本当に多種多様な年代の人たちが集えるような場所であった方がいいなと思って、ターゲット、特に絞るということは私的にはなくてもいいのかなと思います。

○事務局

資料 3-7 の下の方を見ていただきますと、民間活用についてということで補足事項をのせております。

基本的には1,000平米以上というところで民間活用をしていただくのを考えております。その中で、新施設の中に貸付ってなりますと、我々のそもそもの目標として、公共施設の面積を削減して経営改善を図っていくところもありますので、総量削減の趣旨に反してしまうところがあったりとか、行政財産は基本的に行政が使うもので、貸付は基本的にしておりません。

そういったことから、あらかじめ民間施設が利用するスペースを予期した公共施設の建設はできません。区分所有は可能ですが、貸付となった場合、そこが抜けてしまうと空きスペースになってしまう。

1,000平米以上で民間活用か、区分所有となるが、区分所有は難題もあるため、基本としては、1,000平米以上・民間活用で考えています。

○委員E

関連の所が店をやったりすることはできないのか。魚沼基幹病院の売店のように。

○事務局

難しいと思っています。

市役所の中にもレストランが入ってはおりますが、入れている理由としては福利厚生ということで、売店やレストランを入れているので、新施設の中に入れるのは、福利厚生にはなりませんので、ちょっと難しいかなと思っております。

○委員A

今の区役所は。

○事務局

元々、民間建物で、その建物全体を購入したら、空きスペースがあったので、地下など、貸付はしていますが、新たに余分を持って作ることは基本的にはありません。

○事務局

事務局からもう一度補足ですけども、今回は施設再編に伴って、公共施設の面積を減らしていきましようというところが出発点になります。そのため、民間活用については、そのための面積を増やすというような考え方は、持ちづらいなというのが現状でございます。

なので、パターン①と②の中で、今のまちセンの跡地を民間活用地として提案ができるのではないかとこのところ、パターンとしてお示ししております。

ただ、それをすると、若干公園が減るといような可能性もありますが、委員Aの方から頂いた例えば、1階を駐車場にして、建物を上に伸ばせば、その分駐車スペースがどうにかなるのではないかについては、今後検討ができるのかなと思います。

○委員D

配置パターンに建物は真ん中にありますよ。建物の位置を変更することで、公園を持続できんじゃないかと思うのですよ。

○委員長

施設の中で要望は何ですか。

大形は、「駐車場だけとにかく広くしてくれ」って、ずっと言われているんですけど、利用者の皆さんが言われていることは。

○委員D

予約が取れないってことが1番です。

2階建ての建物にして、増やすとか。あと、駐車場についても、やはり多い時は、約70台か80台止まるときがあるのです。

それについては月に何回しかないので、やはり地域の人を大事にすれば、そんな駐車場まで必要なくて、多分内容を充実した方がいいんじゃないかっていうことなのですよ。

○委員A

今の南まちづくりセンター、私も管理運営委員会やっていますが、ホールが広いところの方が、利用率が非常に高いのですよね。で、小さいところは仕切りができるとか。

南まちづくりセンターの大ホールは、仕切りが、私たまに管理人の代行やって、広げたり閉めたりするのですが、なかなか難しくてですね。もっといいやつあると思うのですが。

できるだけ大きいスペースで、利用の仕方によっては小分けできるというようなシステムを作ってもらえるといいな、という気がします。本当に小さいのはこれ使いものにならないですね。

○委員G

そういう点では、公民館とまちセンが一体になって、全体として部屋数が増えると思うので、全体としても少し余裕ができるっていうか、楽になるんじゃないかという風に思います。

○事務局

事務局からお願いでございます。

今お話しいただいている具体的なものについては、2番目の議論のところでもたお伺いをさせていただき予定でございますので、今、委員長からご説明をさせていただいております、あるべき姿だったり、価値だったり、ターゲットの方に意識を向けていただいて、ご議論、ご意見をお聞かせください。

その後、一旦休憩を数分挟ませていただいた後、改めて、配置など具体的なご意見をお聞かせいただければと思います。

○委員長

事前のヒアリングシートを見ていると、価値について、とにかく、賑わいをもたせたいっていう意見がかなり多いんですね。賑わいはいろんな取り方があるかと思うのですが、利用者数だとか、イベントの数とかいろんな形があるかと思うのですが、これについてどうでしょうか。

○委員B

賑わっているのは避けて通れない課題であるとは思いますが。

コミセンに関しては、多世代が集う多機能拠点っていうところで、高校時代は駅の近くに

あるイクネスしばたで、帰る途中に立ち寄って勉強したりとか、本買ってみたいとかしていました。施設建てるにはアクセスが非常にいいですし、新潟駅から新津方面、その逆、新津や長岡から新潟方面に来る学生が来やすいんじゃないかなと思います。基本的に自分が動く動線にあることが、利用する価値だと思います。

賑合いというところでは、地域交流がメインである方がいいと私は考えているので、世代関係なく、20代もいれば、親世代の人たちもいる、小さい子たちもいる。そうなる、みんなが参加してできるイベントができれば、大学なり、民間企業なりが、月に数回のペースでできれば、より賑わいとか活気っていうのが出ると思います。

○委員長

「賑わい」っていう言葉たった4文字なんですけど、その中には色々このアンケートを見ますと、「それは緑があるから集まってくる。緑を作らなければならぬ」というアンケートの方もいらっしゃいますし、いろんなイベント等をして、地元のコミ協なりまちセンの職員の皆さん一緒になってイベント等日常的にやりながら、地域の活性化も含めての賑わいづくりってことで、総称として賑わいって言葉が出ているような気がします。これについては、賑わいづくりをしていくんだっていう大前提でよろしいですね。

○委員A

反対しないけど難しいですね。

賑わいを作る、作り上げるっていうのは、誰かが音頭を取り、人を集めてやれるようなものができるかということなのです。それはほとんどボランティアなわけですね。

例えば、公民館で、最近聞いたかった講演会がありまして、申し込んだら定員に達していました。定員は何人ですかと聞いたら、30人です。30人で定員の理由を聞いたら、駐車場の問題でした。施設はハードとソフトも必要。

○委員長

1番大事なのは住んでいる皆さんでなんとか盛り上げる。外部の力も必要なんですけど、まず住んでいる住民の皆さんが何をしたいのか。ということ、コミ協やまちづくりセンターの職員も含めて、うちの地域では何をしたい方がいいのかなというのは大丈夫かとは思いますが、そのような方向はどうでしょうか。

○委員G

賑わいの定義が難しいと思うのです。

例えば私なんか公民館を利用していると、例えば子育て世代であったり、あるいはその地域学であったり、歴史の講座だと、ある特定の人があるわけですね。

そういう人たちと久しぶりに施設で顔を合わせる事。これも賑わいという意味で捉えるべきだと思うし、市役所機能のところに、普段は公民館を利用してない人が書類を提出したり、住民票取りにきたり、施設でたまに合うのも一つの出会いだろうし。

だから、そういう点ではできるだけ多くの方が施設に集まれるような、そういう風なものっていう捉え方で賑わいってというようなことで、私はいいと思います。

○委員長

ターゲットについては、アンケートを見ると、全世代に促進を図ってもらいたいっていうような形で記載してありますので、この辺についても年寄りばかりとか、若い子供たちばかりということじゃなくて、いろんな層の地域の方から、全ての世代の方からご利用していただける施設、ごく当然のようなアンケートだとは思いますが、この件についてもご意見ございますか。

○委員A

私も園芸センターから 1km くらい離れているところが自宅で、園芸センターまで散歩するのですが、非常に疲れたなとなります。私は、ちょっと事務所で休みますが、公園はベンチが1つ、2つぐらい公園の中にありますが、休むようなスペース（が必要）。

例えばこの間、私が（まちづくりセンター管理人の）代行をやっていた際に、中学生？高校生くらいの3,4人が、施設の中にジュースや何か売っている自動販売機ありますか、入っていいですかって、来たことがあります。

「あるよ、スリッパ履いて入って」と言いましたが、気軽に入れるようなスペースがあるような施設だと、非常にいいなと感じました。施設にスリッパで入る。この流れが、敷居が高いような感じがするのでしょうか。だから、公園と一体となったような施設があるといいなという気持ち。

○委員D

規模は決まっているのですから、その中に各部屋がありますので、そこに特徴持たせないといけないと思っているんです。

貸室についても、大きさを、広げたり、狭くしたりするが、結構広い場所も必要なのでしょうか。例えば、まちづくりセンターでも1番奥に120~130人入れたのですが、それでも、厳しいんです。

例えば、ホールの様なものができればいいかなと思っているんですよね。それによってやはり人が集まりますし、集めることができますので考えてもらいたい。

○委員長

ありがとうございました。建物ができたらいいけど、利用者がいない。何もしないってこ

とでは人が集まりませんので、これは地元の人たちの努力っていうのは相当な力があるかと思えます。

そのために、今までこう議論やってまいりました。少しまとめていきたいと思っておりますので、事務局の方から1つご提案をお願いします。

皆様ありがとうございました。

○事務局

色々ご意見いただいております、今回レコーダーでも取らせていただきましたので、こちらの方、後ほど再確認をした上で、事務局の方でまとめさせていただければと思います。事務局からは以上です。

○委員長

8時まで休憩っていう形でトイレ休憩よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【休憩】(19:52~20:00)

○委員長

第2部は具体的なものについて、皆さんから、お話を聞きたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

ヒアリングシートの議題に、新施設に必要な機能と面積について、事務局から提示されました総量削減案について、これは狭いとか、広くして欲しいとか、公園についても含めまして、少しまだ項目かなりございますので、少しスピードを上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思えます。

先ほど議論したコンセプトを実現するために特に重要で不可欠な機能は何か、また施設の内部だけの機能でなく、公園等の外部空間というのを連携した機能を重視する等、多角的なご意見を聞かしていただければと思っております。

例えば、先ほども出ましたが、可動式の間仕切りがいいのではないかとか、多世代交流のスペースとして何かこう集まる場所、例えば、カフェとか、自動販売機があるところがあった方がいいのではないかとか、今度は、具体的ところで、皆さんがアイデアがございましたら、1人1つ2つお話をいただければなと思っております。

○委員G

調理室は、利用率は低いのですが、医食同源って言いますか、食事とそれから医療っていうのは密接に関係しておりますので、是非、残しておいていただきたいです。

それと和室も、今、新しい住宅は和室がない家が多いのかもしれないですけども、伝統文化としてのいろんな習い事で使える。

和室だけとしてじゃなくて、多目的に使えるような工夫をして、畳を使う時は畳をちょっと敷くことができるとか、そういう風なスペースを作っていただきたいです。

○委員D

今ここにありますが、世代間交流の場所は、貸室と別にして、専門のところがあれば利用価値はあると思っています。

○委員B

資料を 3-6 とか部屋の割合が書いてあるページですが、実際にこの通りというわけじゃないって話があったのですが、この通りじゃないということで、いくらでも変えようはあると思うのですが、学習フリースペースの部分が、どれくらいの規模なのかっていうのが気になっています。

私、学生の視点でしか言えないのですが、勉強をする場所っていうのも結構たくさんないと、私も高校時代とかそうだったのですが、場所が他の高校の学生と取り合いになるんですよ。それで、A高校は何時に終わるから、あっちの方は早くいっぱい人が来ていて使えないとか、そういう状態があるので、貸室の機能ゾーンとかで区切って、何時から何時までは、学習スペースとして開けておくと、学生としては嬉しいと思います。

○委員A

新しい施設が、公民館の形態になるのか、あるいは南まちづくりセンターのような貸部屋とかそういう風な形態になるのか。

というのは、とある会で、20 人ぐらいの会合をやりまして、暑気払いで酒を飲むのですが、1,000 円プラスすれば利用ができるということだったのですが、結局テーブル・椅子で飲んだので、雰囲気としては、いまいちだった。

だから、隣にある石山自治会館は和室の大きな部屋があって、そこが借りられるので、そっちにいているのですが、公民館はお酒はダメ、南まちづくりセンターであれば、プラス料金プラスすれば、飲めるが和室は非常に狭く、テーブルの椅子席でやることになるので、私としてはもう少し広いスペース、今の公民館のスペース程度は欲しいなと思います。

最近、まちづくりセンターの鏡のあるホールを1人で、ダンスを踊っているんですね。料金を払えば利用できるのですが、そんな例もあるので、その辺うまくできないのかな。

○委員G

もう1つ、防音施設のある音楽室のようなものを、1つ欲しいと思います。

○委員長

勉強するとか、色々使う時は小さい部屋がいっぱいあった方が、便利な時もありますしね。

次に進めさせていただきます。

新施設のあるべき姿を実現するために必要な空間部屋のことですが、どのようなものだと考えでしょうか。施設の内部空間だけでなく、公園等の外部空間の連携するための空間と多角的な視点からご意見をいただきたいと思っております。

主な意見としまして、アンケート等ございましたが、「屋内のスポーツができる空間」だとか、「可動式の舞台があった方がいい」とか、「エントランスから公園が一望できる空間があった方がいい」というような、参考意見もございますが、皆さんの方でこれこれがあった方がいいんじゃないかという意見がありましたら、ご発言いただければと思います。

○委員A

事前のアンケートで色々書いたのですが、今、公共施設で色々なコミュニティ施設があるのですよね。建物の中から公園を見渡せるようなスペースがある。

1つは県立図書館の閲覧室内で、ソファーみたいなのがずらっと並んでいて、非常にリラックスできる。

園芸センター記念公園を見ながら、そんなくつろげる場所があればいいなと思います。

○委員D

貸室なのですが、納戸つけてもらいたいのですよ。

公民館にはありますが、机などを納戸に全て納めて、必要な分だけ出してやれば、その分だけで部屋が広く使えると思います。

例えば、まちづくりセンターは、ダンスの場合は、各部屋にあるテーブルを全部廊下に出して使っているのです。

あともう一つ、私は図書館にこだわるんですけど、屋外でも本を読めるテラスを作ってもらって、手軽に屋外でも本を読んだり、交流したりする場所を作ってもらいたいです。

○委員長

次に提示されました、既存施設の利用データを基に、今後の地域に必要な機能を充実させるために、既存の機能の中で役割を終えたものや、他の機能との集約、複合化が考えられるものがあるでしょうか。

皆さんのアンケートの意見の中で、「和室・浴室は役目を終えたのではないか。」「和室は多目的に使用できるようにして、継続したらどうか。」「図書館と学習スペースは1つの空間に集約できるのではないだろうか」という、ご意見があったということでございます。

作ったのはいいけど、全く利用がなければ、これは無駄になるわけですので、例えば調理実習室とかいろんなものが部屋の中にあればあったで使うっていう機能ではなくて、実際に有効に引き出されるような利用できるような話、皆さんのご希望等はいかがでしょう。

○委員 G

「調理実習室はちょっと・・・」という意見も載っているようですけれども、今、最近の調理台は、上をテーブルとして使えるような、調理だけじゃない、多目的な使い方もあると思います。

それから、和室については先ほど申しました通り、日本だから必要だってことじゃなくて、多目的に使える部屋に、必要な時に畳を敷くとかを考えて、人口が減っている茶道・華道を残していくために、畳が敷けるような部屋は残しておいていただきたい。

○委員 A

公民館にある調理実習室は結構広いですね。

どういう使い方をされているか。稼働率があまり良くないわけですね。そういう中でどれぐらいの人数の方々が使っているのか。規模を少し小さくしてでも残してあると、そういう何かあった場合に非常に使えるのかなっていう気がしますね。

○委員 G

もちろんそうですね。

先ほど申しましたように、調理台を格納できるようにして、普通のテーブルとして使えるような、多目的に使えることを考えて作っていただければ、利用率稼働率が上がるんだろうと思います。

○委員 D

やはり計画を立てて、月何回か料理教室もやればできると思うのですがね。何も計画なければ誰も利用しないですよ。作る場所だけでなく、食べる場所まであれば、また使えると思いますけど。

○委員 B

資料の 5 番を見ると、ホールの利用率が高いじゃないですか。

おおよそ 50%以上で、会議室も 40%以上がとれているので、1つの手段としてなんですけど、大きいホールを 6 つから 4 つ用意して、可動間仕切りで部屋ごと分割しているような形にすれば、会議室とかとしても使えるのではないかと思います。

○委員 J

実際、昔の学校にあった調理実習室みたいな、テーブルも動かないような 1 つずつシンク・調理台がついているタイプがいいのか。そうではなくて、ただ、水場が欲しいっていう意味での調理実習室なのか。どんな感じでしょうか。

○委員G

各テーブルに水があることについては、私もあまり関わったことはないですが、各テーブルに水があった方が、都合がいいとは思いますが。

水場のことを言えば、美術工作室にも水が必要ですし、それを考えれば、各テーブルに水場はそれぞれ1つずつあった方がいいと思います。

○委員長

それでは、提示されている図案、それぞれの基本的な特徴やコンセプト実現の可能性についてご意見をお願いいたします。

貸室機能や出張所機能、図書館機能などの導入配置バランスの所は、皆さんご意見いかがでしょうか？

貸室の部屋、出張所の機能、図書館の機能などの配置バランスについてですが、合わせて諸室のゾーニング配置のバランスや面積配分についても妥当でしょうか。

例えば、ホールは最上階に、出張所は1階に配置すると、また可動式仕切りなどを活用した多目的な使い方は可能でありますでしょうか？というのもございますが、その含めて利用するにあたっていう形ですが、いかがでしょうか？

○委員D

私としては3階建ての方がいいと思います。図書館のスペースが1階にありますので、緑が見えるかと思っています。

あとはこの図面を見ますと、例えば1階建てでも、2階建てでも、その中のコアの面積は同じなのですよ。ということは1階の場合だとエレベーターもないし、階段もないからこの面積が減ってくんじゃないかと思うのですよ。(各図面)一緒だと、違和感を感じますけどね。

○委員A

図書館の面積などはどこかに書いてありますか。

○委員J

資料5の各部屋の面積が書いてあるところの下の方に。(図書館の面積は)今より増える。

○委員A

今はとにかく閲覧スペースが少なくてね。見て貸出しだけをするという状態。まあいいと思いますよ。

○委員長

限られた敷地ですので、駐車機能と公園機能、施設との交流・連携機能等、どの機能を優先とするかについて、例えば駐車場が最優先、公園機能はどの程度必要か、高い木の植栽よりも施設との交流・連携機能を重視する等についてもご意見をいただければ。総合的な部分ですが、ご意見ございましたら遠慮なくお願いをいたします。

○委員D

駐車場の件について、園芸センターや老人憩いの家があった頃から今まで、土日は道路に止めることもできるので、駐車可能な道路、ほとんど車が来ない道路をうまく利用して、駐車可能にすれば相当数の車が駐車可能だと思います。

駐車場がいっぱいになった時はこれを使えるような形にしておけば、駐車場に困ることはないと思います。

あと、駐輪場をどこにするかなんですよね。

駐輪場が駅の駐輪場と一緒にするか、別にするかですが、駅の駐輪場もいっぱいですので、やはりもうちょっと考えていただきたいと思っています。

○委員J

新しい市の施設を作るにあたって、最初から道路に車を止めるっていう、駐車場を考えなくていいというのは、好ましくないかなと思います。

付帯事項にもありました。適正規模の駐車場の設置っていうのはワークショップから言われていたことですので、こちらの方で調べた 80 台っていうあたりが適正なのかどうか、それに関して公園の大きさも変わってくるので、兼ね合いを皆さんがどちらを取るかってなるのかなと思います。

○委員G

どっちを取るかって、駐車場を取れば公園が少なくなるってことじゃなくて、やっぱり最大限、委員Aじゃないけど、少しじゃなくて最大限公園を残して、それであの駐車場は食育花育センターみたいに自動ゲートにして、90 分間は無料。それ以降は、陸上競技場や、りゅーとぴあと同じようなプリペイドが使えるような、それから子育てだとか、そういう風な人に対しては減免が適用できるような、そういう駐車場にしていただけたらなという風に思っています。

○委員A

先ほども申し上げましたけれども、この検討会だけのパターンの中でも、1階をスペースにして、2階、3階をとということも検討して欲しい。駐車場確保のためので、いわゆる平原

の青空駐車場のよりも、公園を残すことも可能ではないのかなという気がします。

○委員長

私の方からはまとめませんが、1つの区切りとしたいと思っております。

私の方から最後、本日本当に長時間にわたりまして、皆さんから大変活発のご議論をいただいて、本当にありがとうございました。

本日の課題の新施設のあるべき姿や提供すべき価値の他、重要となる機能の方向性について確認できたかと存じます。

詳細のことにつきましては、事務局で整理をして、また後日共有させていただきます。今後ともこの会議、または地元に戻っても、こんな話があったのだけど、もっと何か話ないかっていうところで、皆さんのご意見を聞いてくることも1つ大事かと思っておりますので、何回も申し上げますが、これからの石山の50年先、60年先のことを考えながら、この問題について、さらに真剣に一生懸命取り組んでいただければ幸いです。

それでは進行は事務局の方にお返ししますので、よろしく願いをいたします。

○事務局

みなさま長時間にわたりありがとうございました。今日いただきました意見を踏まえて第2回、第3回ということでより議論を深めていきたいという風に考えております。改めましてなんですが、新しい施設を建てるために、業者さんに発注する。そのための材料集めを皆様をお願いをしているというものになります。ですので、こういうものがあつたらいいな。こういう建物になるといいな。というイメージで、あの第2回、第3回の方もご意見を頂ければと思います。

その頂いたご意見を踏まえて、事務局の方で実現可能性も踏まえて、次の案のご提示をさせていただくような形になります。そこはまた後ほどということになりますが、よろしく願いいたします。

次回の第2回目につきましては、10月の中旬を予定しておりますが、本日は欠席されている、大学生の委員から、学業の都合で火曜か木曜夜はどうかと、ご要望いただいております。事務局としましても、若い方の、ご意見も伺いたないので、第2回、第3回については、日にちは未定ですが、火曜か木曜のどちらかで調整を進めたいのですが、皆様よろしいでしょうか。

よろしいですか。ありがとうございます。

お時間についても、6時半から開催できればと思っております。

詳細につきましては、また改めて、皆様の方にご案内をさせていただきますので、次回もご出席いただけますよう、よろしく願いいたします。

あと、最後となりますが、皆様との連絡につきまして、可能であればメール等でやり取りをさせていただきますと、事務局のも負担少なく済むかなと、郵便だと届くのが遅くなる可

能性もございますので、もしメールアドレスをお持ちで、それでやり取りできるよという方いらっしゃいました、メールアドレスをご記入いただきたいと思います。

コミ教選出の方で施設のメールアドレスがあつて、そこに常に見に行っているから、そこでも大丈夫だよ。という方がいれば、資料に施設のアドレスという項目を設けていますので、そこに丸をしていただければ、今後そちらの方にご連絡を入れます。それが難しいなという方につきましては、引き続き、お電話やお手紙等でご連絡をさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、第 1 回越後石山駅前地域交流拠点施設整備事業基本構想策定委員会を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。ありがとうございました。